



ていじゅうしえん

定住支援プログラム

ねんどじゅうこうせいほしゅう

2024年度受講生募集

がつ にち ひるま たいめんきぼうしや がつ か ひるま やかん きぼうしや しよるいていしゅつしめきり
1月31日 (昼間コース 対面希望者) ・ 2月7日 (昼間・夜間コース オンライン希望者) 書類提出締切り

なんみんじぎょうほんぶ

難民事業本部 (RHQ) は、2024年4月から

にほんご まな

じょうやくなんみん

かた

もうしこ

うけつ

日本語を学びたい条約難民の方からの申込みを受付けています。

ていじゅうしえん

定住支援プログラムについて

たいしやう じょうやくなんみん かぞく
対象：条約難民とその家族

ないよう にほんご じげんていど せいかつ じげんていど しゅうしゅしえん (※1時限＝45分)
内容：日本語(572時限程度)、生活ガイダンス(120時限程度)、就職支援

コースの期間： 昼間コース (6か月) 2024年4月～2024年9月 (月～金、9:30～15:50)

夜間コース (1年間) 2024年4月～2025年3月 (月～金、18:30～20:55)

じゅぎょうのかたち： 昼間コース 対面またはオンラインによるグループ学習

夜間コース オンラインによるグループ学習 (※オンライン授業は自宅で受講)

その他： ・オンライン授業で使用するIT機器は、必要な人にはRHQが貸し出します。

・対面授業では子供をあずけることができます。

・昼間コースの対面授業に参加する場合、プログラムの参加期間中に限り、宿泊施設を

提供することが可能です。夜間コース参加者への宿泊施設の提供はありません。

ちゅうい おうぼしや おお ばあい けんこう じょうたい さんか
注意：応募者が多い場合や、健康の状態などによっては、このコースに参加できないこともあります。

<手続きの流れ>

1. RHQ支援センターにメールか電話で連絡してください。(コース説明をします。)

2. 2023年12月中旬～2024年1月31日(昼間対面希望者) 申込み書類提出・個別面接・健康診断

2023年12月中旬～2024年2月7日(昼間・夜間オンライン希望者) 申込み書類提出・個別面接

◆お申込み・お問合せ◆RHQ支援センター

TEL: 0120-068-655

E-mail: rhqcenter@rhq.gr.jp

Web: http://www.rhq.gr.jp

じょうやくなんみん かぞく
条 約 難 民 と そ の 家 族 の た め の
にほんていじゅうしえん
日 本 定 住 支 援 プ ロ グ ラ ム

ねんど ぜんきひるま つうねんやかん もうしこみしよるい
2024年度 前期昼間コース・通年夜間コースの申し込み書類を

ねん がっ か ひるま たいめんきぼうしゃ また
2024年1月31日 (昼間コース 対面希望者) 又は

ねん がっ か ひるま やかん きぼうしゃ ていしゅつ くだ
2024年2月7日 (昼間・夜間コース オンライン希望者) までに提出して下さい。

にほんご べんきょう にほん しゅうかん し
～日本語を勉強したい, 日本の習慣を知りたい,
しごと み じょうやくなんみん かぞく かた
仕事を見つけない条 約 難 民 と そ の 家 族 の 方 へ～

こうざい ふくしきょういくざいだん
(公財) アジア福祉教育財団
なん みんな し ぎょう ほん ぶ
難 民 事 業 本 部

はじめに

日本政府は、法務大臣から難民として認定された人やその家族のために、日本語教育、生活ガイダンス、仕事の紹介などの定住支援プログラムを無料で行っています。

- 日本語の基礎、日本で生活するために役に立つ制度・習慣などを日本語で勉強することができます。
- 働きたい人は仕事の紹介を受けることができます。
- プログラムに参加している間は生活費、医療費、住居費（いずれも条件・審査あり）、プログラムを修了した時は定住手当（定住の準備のためのお金）をもらえます（*3ページを見てください）。
- 必要の人にはオンライン授業で使用するIT機器をRHQが貸し出します。

注意：昼間コースの対面授業に参加する人は子供を預けることができます。

昼間コースの対面授業に参加する場合、プログラムの参加期間中に限り、宿泊施設を提供することが可能です。夜間コース参加者への宿泊施設の提供はありません。

プログラムの内容

日本語教育・生活ガイダンス・仕事の紹介

1. 日本語教育（572授業時間（1授業時間＝45分））

- 日本語の基礎力（読む、書く、聞く、話す）を伸ばすことができます。
- 自立して生活するのに必要な日本語を勉強することができます。

2. 生活ガイダンス（120授業時間（1授業時間＝45分））

- 日本で生活するために役に立つ制度（医療、保険、年金、税金など）や習慣について、勉強することができます。

※授業は、日本語教育と生活ガイダンスを組み合わせたカリキュラムで行います。

3. 仕事の紹介

- 働きたい人は仕事の紹介を受けることができます。
（ただし、希望する仕事が見つからない場合もあります。）
- 仕事を探す時に必要な交通費が払われます。
- 仕事をする予定の会社で業務指導を受ける制度もあります。
受けられる支援については生活ガイダンス授業で詳しい説明があります。



がくしゅう じかん じき 学習の時間と時期

- 572授業時間（1授業時間=45分）の日本語教育と120授業時間（1授業時間=45分）の生活ガイダンスの計692授業時間のコースです。

じゅぎょうけいしき ● 授業形式

- ・ 昼間コース 対面によるグループ学習（RHQ支援センターにて受講）またはオンラインによるグループ学習（自宅にて受講）
- ・ 夜間コース オンラインによるグループ学習（自宅にて受講）

- 学習時間（カリキュラムの設定によって、時間が変わる場合もあります）。

- ・ 昼間コース 月～金の毎日 9:30～15:50
- ・ 夜間コース 月～金の毎日 18:30～20:55

- コースの期間：前期昼間コース 2024年4月～2024年9月
通年夜間コース 2024年4月～2025年3月

さんか ひと プログラムに参加できる人

ほうむだいじん なんみん にんてい ひと かぞく
法務大臣から難民として認定された人とその家族（※1）。

ただし、今までに国際救援センター（平成18年3月閉所）やRHQ支援センターで、日本語教育などの定住支援を受けた人は、プログラムに参加することができません（※2）。

（※1） その家族とは、日本に在留する外国人で、条約難民の家族として日本での在留資格がある人（夫や妻、親、結婚していない子ども）です。

（※2） 応募者が多い場合や、健康の状態などによっては、希望するコースに入れないこともあります。

せいかつえんじょきん

生活援助金

(※ 支給には条件・審査があります。)

定住支援プログラムに参加した場合に受け取れる援助金。

せいかつ 生活費 (生活のためのお金)	ひるま 昼間コース おとな 1日 2,400円 (6か月間) / 子供 1日 1,200円 (6か月間) ※ ただし世帯の中の2人目以降の大人は1,600円 やかん 夜間コース おとな 1日 1,200円 (1年間) / 子供 1日 600円 (1年間) ※ ただし世帯の中の2人目以降の大人は800円
いりょうひ 医療費 (病気やけがをした時のお金)	プログラムの参加期間中に医療機関に支払った治療費および処方薬の実費を支援します。自由診療、予防は除きます。 (ただし、高額な支払いが見込まれる場合は、事前にRHQ支援センターに相談してください。) ※ 参加者は全員 自分のお金で健康保険に入ります。
じゅうきよひ 住居費 (住まいのためのお金)	プログラムの参加期間中に支給される住居費には上限があります。 世帯人員 1人：月額40,000円まで (夜間コースは月額20,000円まで) 2人：月額50,000円まで (夜間コースは月額25,000円まで) 3人：月額55,000円まで (夜間コースは月額27,500円まで) 4人以上：月額60,000円まで (夜間コースは月額30,000円まで) ※ 家賃が住居費の上限より低い場合は、実際に支払った額が支給されます。 ※ 家賃以外の諸経費は支払われません。 ※ 賃貸借契約書のコピー (家賃額・入居者全員の氏名明記) が必要です。
ていじゅうてあて 定住手当 (定住の準備のためのお金)	おとな (16歳から) 156,900円 子ども (15歳まで) 78,450円 * 定住支援プログラムを修了した時に1回だけもらえます。

問合せ先：公益財団法人アジア福祉教育財団 難民事業本部 (RHQ)

RHQ支援センター：TEL：0120-068-655 FAX：03-5292-2043
E-mail：rhqcenter@rhqgr.jp

(2023年12月作成)